

社説

iki shinpou

**新しい「緑」・みどりの日に**

もう一週間は過ぎたかと思うが、日没を見に渡良半島の牧崎へ出かけた。低いゲートから少し入ると、松など山の木々の何とも優しい香りが辺りに漂い、ほんのわずかな時間ではあったが、その香りに包まれて心と体の緊張が解けてリラックスしていく中で、大袈裟に表現すると至福の時を意識したように、「ある日、自分にとって

しばらくして感じられた。牧崎周辺には島外在住の地元出身者や行政などに育てられている松林に、だいたい病害虫によりかかれてはいるものの古くからの松があり、穏やかな気味の朝方にそよした香りが感じられる時があり、朝陽が昇り彩りを取り戻す松や照葉樹、草木、夕陽が行く海の美しさに、自然の豊かさ、その必要性を見、感じるものに静かに深く伝えているようである。

いちはんうれしいことはなんだろう、と考えてみました。答えは、『花や鳥に囲まれて暮らすこと』でした。つぎに花や鳥たちがいざいざ喜ぶことはなんだろう、と考えてみました。答えは『森がよみがえること』でした。森が復活すれば鳥のねぐらができ、けものたちの食べものがふえ、虫のすみかが広がり、魚たちも元気をとりもどすでしょう。川は流れ、海も疲れ、魚たちは鱗の輝きを失い、人々は疲れていて、救いと癒しを求めています。

これは、正木高志氏の著書「木を植えましよう」の裏表紙に書かれた言葉の一部で、この著書は、木を植えることで地球はもちろん、人々の心の砂漠化をも食い止めるよう訴え、人類が地球市民としての意識、環境への共有される意識に目覚めていくことで、国家や人種、宗教などの垣根を越えてつながっていくこと、新しい世界は、ほぐれた一人ひとりが、新しい「緑」に目覚めることによつてやってくるのではと、強くアピールしている。

吉岐の島の野山の景色も、木々の萌えた若葉の緑の異なりが、みずみずしい新しい生命が躍動するのねりのように見える、初夏

夏は美しさを強く感じる頃へと移行した。そんな島の豊かで鮮やかな光景の中には、木々が伐採されて崩された山肌が痛々しく見える場所もあり、先に記した正木氏の著書の言葉が頭をよぎる。そうかと思えば、子どもたちの自然環境再生への思いがこもった植樹がなされている場所もある。その時にこめられた意思と共に大切に育てたい。

4月16日、兵庫県明石市のグリーンヒルホテル明石で、魏志倭人伝に記された歴史とロマンの国「吉岐のタベ」が開催された。この「吉岐のタベ」は、芦辺町出身のNPO法人「尽人会」代表の中村靖氏と(株)吉岐の華大阪支社

長で関西吉岐の会理事・長田嘉明氏を中心に、関西吉岐の会の理事役員が協力したもので、当日は、明石観光協会の前会長や明石市議会議員はじめ、中村氏の幅広い人脈もあり、商工業者や若手経営者を中心に85人の出席があり、吉岐か

来初めてで、参加者の目を引いた。今年は大全体でも例年以上に子供達の姿が多く、空を舞う凧の数も目立った。雪州会関係者は朝10時過ぎにはほぼ出揃い、野原で車座になって吉岐焼酎や白慢の弁当などで歓談。今回も長田玲子、角田貴美子、広田ケイ子、日高恵美子さんらがそれぞれ手作り弁当や氷などを持ち寄り、座を盛り上げた。山内賢明さん(東京雪州会名誉会長)も当日早朝便で長崎市から駆けつけたほか、80歳代の高齢者から小さな子供さんまで多くの会員が参加。このハタ揚げ大会は雪州会会員にとって、も初夏の風物詩として根付いて

**男女とも郷ノ浦が優勝 優秀選手に男女各3人 市中学バスケットボール春季大会**

吉岐バスケットボール協会(西村宏章会長)主催の「市中学バスケットボール春季大会」が4月22日、郷ノ浦中学校体育館で開かれ、攻守の切り替えが早く、激しさも見られる好ゲームが展開された。

今大会は男子、女子ともに郷ノ浦が制して優勝、準優勝も男女ともに石田、3位も同様に芦辺の結果となった。

大会では優秀選手に男女各3選手が次の通り選出された。

**市卓球選手権・春季大会**

市卓球連盟主催の第8回「市卓球選手権・春季大会」が4月22日、郷ノ浦町、大谷体育館で、中学生95人、一般・高校生45人の合計140人が参加して開かれ、選手たちのスピード感のあるファインプレーが

随所に見られる好ゲームが展開された。

大会(個人戦)主な成績は次の通り。

▼中学生▽男子①久原将豪(石田)②長島幸輝(郷ノ浦)③中田雷斗(勝本)

▼一般・高校生▽男子①田川晃輔(佐賀大)②下條

第3回コカ・コーラ杯春一番ママさんバレー大会

第3回春一番ママさんバレー大会が4月15日、石田町、石田小学校・体育館で、市内7チームが出場して開かれ熱戦を展開した。

大会は2コートに分かれて予選を行い、上位2チームが決勝トーナメントに進み、両コートの1位と2位が対戦した結果、決勝は石田アップル対武生水ドリアンズのカードとなり、石田アップルがストレートで武生水ドリアンズを破り優勝した。

男子・・・竹藤・村部組がV

女子・・・富場・久原組がV

春のSテニスジュニア選手権

市ソフトテニス連盟 芦辺中学校・富場美咲、久藤嶋光信会長)主催の第100回「市ソフトテニスジュニア選手権春季大会」が4月28日、郷ノ浦町、大谷テニスコートで開かれ、男子の部に32組・66人、女子の部に32組・64人が参加して攻守に熱戦を展開した。

白熱した好ゲームが続いた100回大会の優勝は、男子は郷ノ浦中学校・竹藤智哉、村部浩基組、女子は真沙希組(郷ノ浦中)

石田アップルが優勝

第3回コカ・コーラ杯春一番ママさんバレー大会

第3回春一番ママさんバレー大会が4月15日、石田町、石田小学校・体育館で、市内7チームが出場して開かれ熱戦を展開した。

大会は2コートに分かれて予選を行い、上位2チームが決勝トーナメントに進み、両コートの1位と2位が対戦した結果、決勝は石田アップル対武生水ドリアンズのカードとなり、石田アップルがストレートで武生水ドリアンズを破り優勝した。

投稿 魏志倭人伝に記された「吉岐のタベ」 歴史とロマンの国 関西吉岐の会事務局長 岩谷良機

長崎ビードロ会(長崎出身者の関東地区親睦団体)主催のハタ揚げ大会が4月29日、東京・大田区の大摩川河川敷で開かれ、東京雪州会から75人が参加して懇親を深めた。全体では地元

投稿 東京の空に「吉州鬼凧」舞う 八夕揚げ大会に雪州会75人参加 東京雪州会会長 牧山康敏

長崎ビードロ会(長崎出身者の関東地区親睦団体)主催のハタ揚げ大会が4月29日、東京・大田区の大摩川河川敷で開かれ、東京雪州会から75人が参加して懇親を深めた。全体では地元

投稿 東京の空に「吉州鬼凧」舞う 八夕揚げ大会に雪州会75人参加 東京雪州会会長 牧山康敏

長崎ビードロ会(長崎出身者の関東地区親睦団体)主催のハタ揚げ大会が4月29日、東京・大田区の大摩川河川敷で開かれ、東京雪州会から75人が参加して懇親を深めた。全体では地元

投稿 東京の空に「吉州鬼凧」舞う 八夕揚げ大会に雪州会75人参加 東京雪州会会長 牧山康敏

長崎ビードロ会(長崎出身者の関東地区親睦団体)主催のハタ揚げ大会が4月29日、東京・大田区の大摩川河川敷で開かれ、東京雪州会から75人が参加して懇親を深めた。全体では地元

**男女とも郷ノ浦が優勝 優秀選手に男女各3人 市中学バスケットボール春季大会**



熱戦を展開した選手たち

男子・・・竹藤・村部組がV

女子・・・富場・久原組がV

春のSテニスジュニア選手権

市ソフトテニス連盟 芦辺中学校・富場美咲、久藤嶋光信会長)主催の第100回「市ソフトテニスジュニア選手権春季大会」が4月28日、郷ノ浦町、大谷テニスコートで開かれ、男子の部に32組・66人、女子の部に32組・64人が参加して攻守に熱戦を展開した。

白熱した好ゲームが続いた100回大会の優勝は、男子は郷ノ浦中学校・竹藤智哉、村部浩基組、女子は真沙希組(郷ノ浦中)

**投稿 東京の空に「吉州鬼凧」舞う 八夕揚げ大会に雪州会75人参加 東京雪州会会長 牧山康敏**



賑わうハタ揚げ大会

来初めてで、参加者の目を引いた。今年は大全体でも例年以上に子供達の姿が多く、空を舞う凧の数も目立った。雪州会関係者は朝10時過ぎにはほぼ出揃い、野原で車座になって吉岐焼酎や白慢の弁当などで歓談。今回も長田玲子、角田貴美子、広田ケイ子、日高恵美子さんらがそれぞれ手作り弁当や氷などを持ち寄り、座を盛り上げた。山内賢明さん(東京雪州会名誉会長)も当日早朝便で長崎市から駆けつけたほか、80歳代の高齢者から小さな子供さんまで多くの会員が参加。このハタ揚げ大会は雪州会会員にとって、も初夏の風物詩として根付いて

蛇踊りも披露